

日大全学丁から反憲学連 連を放逐するぞ！日大 解放を占兒ち取るぞ！

日大統一実行委 全文理連絡会議
商学部オレングララウユニ
法学部4・20統一実行委

はじめに

入学された全生に諸君、我々日大生より心からの連帯の言葉を送る。現在反文理学部において武装右翼反憲学連と名のる右翼集団たちが80年11月以降武装活動し続けている。右翼反憲学連は今期文理学部において昭和55新歓宴なるものをデタ上げ、右翼反憲委員会を行い、日大文理学部を右翼拠点校として位置づけ、右翼学生運動を形成せんと策動をくり返している。我々日大生はこのような右翼反憲学連の策動を粉砕し、文理学部からの完全二掃と右翼反憲学連を擁護し、全学部と強権的學生管理を確立せんとしている日大当局を許さず、全学部制改革、全学部制を徹底的に解体し、全学部を表明を述べたい。

日大当局、国家権力に擁護されて文理
学部が登場してきた反憲学連

80年11月日大生とが学外者である「反憲学連」と名のる集団が日大文理学部において講演会を行ない、終了後飯パンプ、日本刀、青竜刀をデタ上げ、文理生に対して武装襲撃を策動してきた。11月1日の武装襲撃は粉砕したが翌日から反憲学連は80文理自主学際実行委員会を中心に学外に

TEL 45213201 内3634

日大文理学部に対しては、日大当局と国家権力が一体となり、反憲学連を擁護し、暴力行為を黙認しているのである。そして国家権力は、反憲学連を後から協力するかの「こころ」の文理生に対して「四郎半端」集合罪をデタ上げ、20数ヶ所の家宅捜査を強行してきた。さらに、日大文理生たちの二日入校斗争に対して反憲学連が暴力襲撃してきたにもかかわらず、「暴行傷害罪」でデタ上げ、三日の6名の文理生を不当逮捕して、人権を奪う暴行を行っている。新入生諸君、以上のようなことが今日日大文理学部において公然と日大当局、国家権力が反憲学連が一体化し、日大文理生に対して圧殺せんとしている。我々日大生は絶対に許すことはできない。

日大当局の反動性と学生自治破壊者「暴
力右翼反憲学連」

日大文理生は78年重弾圧体制下の真実だ。12月4日、4の文理生と共に暴カガードマン追放に向けて暴力決起を起し、19年春期大攻勢を連日行った。展開し、暴カガードマン追放斗争に勝利したのである。この成果の基に、日大文理生は、第二回自主学際・80年第二回自主学際を連続で打ち取ったのである。このために、日大文理生の学生自治確立に向け、

当局は国家権力を憲法運動と一体として文壇学生運動解散を企て、文壇生間接支配を反憲法運動に行なわせ、政治的に右翼反共イデオロギーの注入と右翼学生運動への組織化を担担者として存在を企てた。そこで反憲法運動は日大当局・国家権力のバックアップの下に民主的かつ合法的に昭和56新憲法を企てて、三三三主義を以て文壇生たちを組織する目的のデモリションを公然と行使する運動中なのである。反憲法運動は日大で「日本文化研」「国政研」を名乗って登場し日大を以て全国の各大学において武装登場し、学生自治破壊と反共イデオロギーを叫び、右翼学生運動形成を策動している集団なのである。このような輩を完全掃解体をもてたえなければならぬ。日大当局は文壇学部において反憲法運動を擁護し、また法学部経済学部において暴力ガマン常駐・後援機関体制と重層体制を行使している。法学部では学生会館を昭和56のデモで攻撃以降現在に至るまで閉鎖し続けている。そして商学部では昭和56のデモの家長の家・反憲法運動山本用也らが「天皇制復活」「明治憲法復活」を叫び登場してきた。これに對し、商学部生が理論的糾弾活動を展開した。ところが商部の権力が権威化し、処分攻撃・不当逮捕してきた。さらに昭和56年4月において、反憲法運動は文壇執行部に對して武装襲撃してきた。しかし、商学部生は反憲法運動・当局一体の攻撃に對して全学的に反撃し、様々な手段を動員してきたのである。このように日大当局はあらゆる手段を用いて、日大生を強制的に管理し日大生の自由の侵害をなすとして押さえつけているのである。日大当局は昭和56年便送・不明金問題による大規模した日大生等の再現を恐れて、このように日大生に對してなすあらゆる弾圧を行ってきたのである。

鈴木自民党政府の統合安保―改憲反動攻撃を右から支える右翼・反憲法運動

日本文壇学部の反憲法運動の登場、日大当局による全学管理支配体制・重層体制確立に對しての攻撃は、現在の鈴木自民政府

政府の諸反動攻撃を労働者人民に付けている攻撃と一体のものである。昭和56年ベトナム革命勝利以降米帝の衰退と同時に世界労働人民の斗いの前進、とりわけ昭和56年日南朝鮮人民の斗い、九州路起の直撃を受けた日帝自民党政府の危機が促進された。昭和56年日南朝鮮同時運動において自民党は議会の多数を形成することによって帝国主義國の運命をかけた。再編攻撃を労働者人民に付けてきた。鈴木自民党政府は議院内の多数を最大限利用した全面的帝國主義的再編攻撃を統合安保・改憲反動攻撃を軸に展開し、日本韓反革命軍・同盟強化・アジア反革命同盟主として登場せんとしている。だが日帝鈴木自民党政府は世界労働人民の斗いの前進に、これに打ちかかろうとする力量をばらばらに散らすことによって帝國主義國としての運命をかけて露骨に登場しなければならぬという局面にまで進んでしまっているのである。奥野法相の「改憲発言」、地方議会に於ける改憲決議策動、防衛三法改憲、文部省による國家主義的教育の育成、建国記念日後援、反ソキャンペーン、北方領土返還をテコとした全野党を巻き込んだ帝國一致体制・労働運動の右翼再編攻撃と合理化・組合つぶし等の露骨な攻撃の表現としてある。諸反動攻撃をより露骨な矢張りとして、右から支えるものが右翼勢力であり、反憲法運動なのである。同様に、大学当局の学生管理強化や政府文部省による大学再編攻撃、4・20通過攻撃等々があるのだ。そうであるがゆえに、日大商学部文壇学部における、また、全国各大学に於て登場してきた右翼反憲法運動の登場、や重層体制が引かれている日大法学部経済学部全国各大学における管理強化は、日帝鈴木自民政府の軍事強化・帝國主義的再編としての統合安保・改

総合安保・改憲反動攻撃粉碎〃大学再
編・4.20攻撃粉碎〃全国学生共同斗争
で鈴木自民党政府打倒しよう〃全国大
学・全日大・文理学部から右翼暴力果
団「反憲学連」を完全一掃解体しよう〃

日帝鈴木自民党政府による総合安保・改憲反動攻撃を
こたへて文理学部に登場している右翼反憲学連との
斗争は、実通リ自民党政府との攻防局面として存在して
いる。我々日大生は「反安保・改憲阻止一日闘連帯」鈴木
木自民党政府打倒の斗争を全国の斗争学友の最先頭
で斗争かねばならない。さらに反憲学連に対する文
理学部完全一掃の斗争は一日における連続入校斗争として
展開されている。さらに斗争文理生による「自主新敵」が
多くのサークルの結果のもとに準備が進められている。我
々斗争日大生は反憲学連の「昭和系新敵」を完璧に粉碎
し「文理自主新敵」実現に向けて全力で斗争せよ、反憲
学連完全掃解体を貫徹していくことを断固として宣言す
る。さらに我々日大生は全国20万学友の最先頭で「総合安
保・改憲反動攻撃粉碎」を学生運動解体、大学再
編・4.20攻撃粉碎、鈴木自民党政府打倒、斗争を斗
いぬく。5.4.20全国学生共同斗争勝利に向か
って進撃するぞ、全国で斗争労働者人民、
三里塚反対同盟、4葉勤労、部落解放同盟と
固く連帯し、三里塚空港建設を燃料阻止、狭山斗争
勝利まで斗争いぬくぞ、日大斗争勝利、重弾媒体
制、全学管理支配体制解体、日大解放、全
日大から反憲攻撃を二掃するぞ、学生自治権を
完全回復するぞ、全日大生は斗争せよ、新入生諸君